

土木用



既製コンクリート杭の機械式継手
トリプルプレートジョイント

T・P JOINT

建設技術審査証明

(土木系材料・製品・技術、道路保全技術)

建技審証 第1702号 (一財)土木研究センター

有効期限2027年12月17日

杭径等仕様の詳細については、当社にお問合せください。

 前田製管株式会社

■ T・P JOINT の概要

T・P JOINT は、図-1のように、端板、側板、補強バンド、接続プレートおよび接続ボルトから構成されています。杭本体の継手金具は、端板、側板、補強バンドからなり、側板に接続プレートのボルト孔に対応したネジ穴が切られています。端板には、下杭に上杭を合わせた時に、接続プレートの形状に嵌合する凸形の突起が形成される形となっています。接続プレートは、端板の突起と嵌合する凹形となっており、側板のネジ穴に接続ボルトを取り付けることにより凹凸を嵌合し(図-2参照)、この嵌合部により杭に作用する応力を伝達します。尚、接続ボルトは、杭に引張力が作用した時の接続プレートの離脱防止の役目をしております。

■ T・P JOINT の特長

- 1 溶接継手と同等の性能を有している。
- 2 気象条件(風、雨、気温等)の影響を受けにくく、安定した施工ができる。
- 3 火気厳禁の場所でも安全に施工ができる。
- 4 溶接継手に比較して施工時間が短い。
- 5 接続プレートを3分割し、軽量化を図っているため、取扱いが容易である。
- 6 接続ボルトの締付けはトルクレンチを使用し、特殊な工具及び特殊な技能者を必要とせず、施工管理が容易である。
- 7 接続プレートの杭本体からの突き出しが小さいので杭周面摩擦係数への影響が少ない。
- 8 全ての部品は、工場製品を使用するので、品質の信頼性が高い。

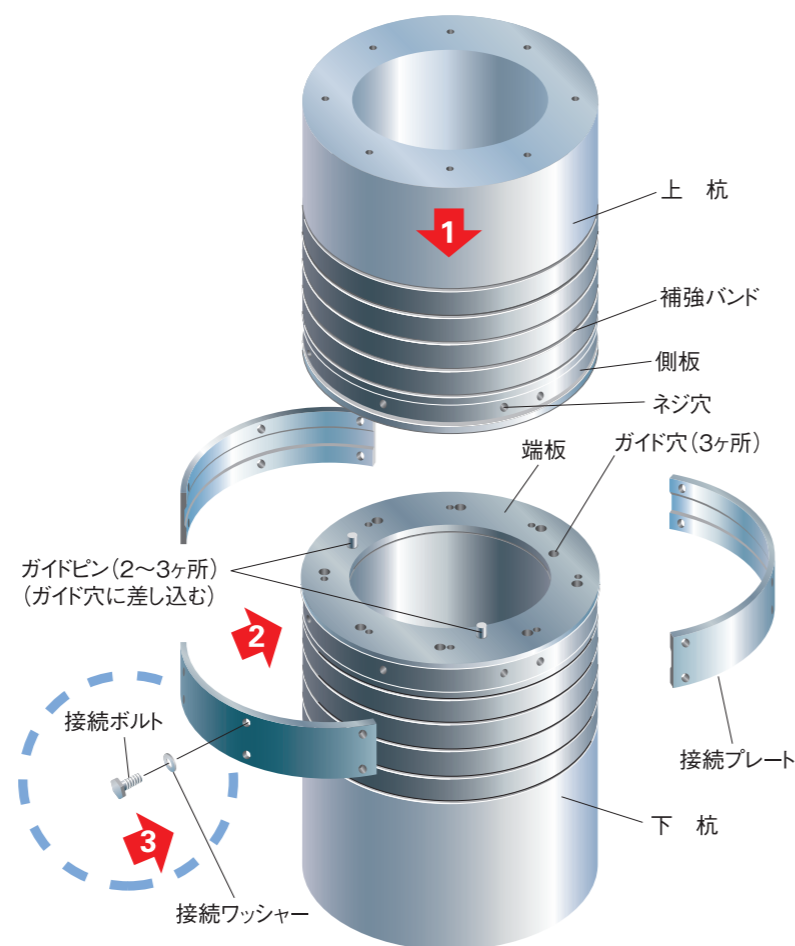


図-1

■ T・P JOINT の概要図

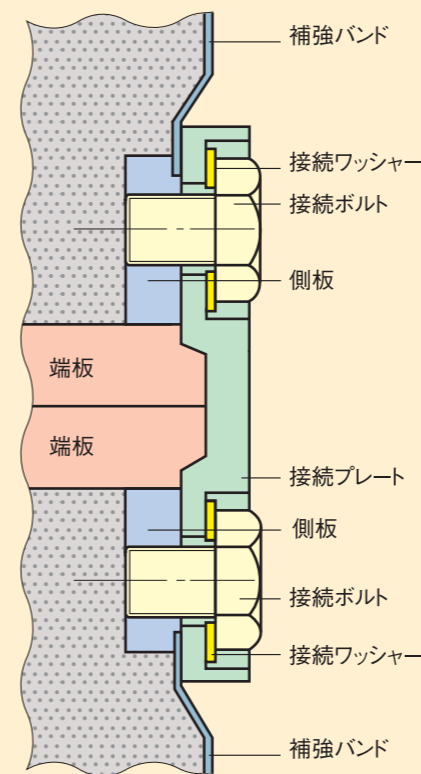


図-2

T・P JOINT は下杭と上杭により形成されたテーパ状の突起に、接続プレートのテーパ状の溝を接続ボルトで取り付けることにより嵌合し、杭を接続する形状になっています。

■ T・P JOINT の適用条件

適用範囲：建設技術審査証明 (土木系材料・製品・技術、道路保全技術)
 建技審証 第1702号 (一財)土木研究センター
 有効期限2027年12月17日

1 対象

杭種：既製コンクリート杭 (PHC杭^{※1}、SC杭)

杭径：300~1200mm

PHC杭+PHC杭の場合	300~1200mm
PHC杭+SC杭の場合	300~1200mm
SC杭+SC杭の場合	355.6~1200mm
SC杭+SC杭(タイプS ^{※2})の場合	318.5~1000mm

コンクリートの設計基準強度：80N/mm² 以上

※1 PHC杭は、JIS A 5373 附属書Eの規格に適合するものとする。そのうち特に、『道路橋示方書・同解説 IV下部構造編』(平成29年11月、公益社団法人 日本道路協会) pp.304-306 に従って、 $\rho_s \sigma_y \geq 2.45$ (ρ_s : スパイラル鉄筋の体積比、 σ_y : スパイラル鉄筋の降伏点(N/mm²))となるようにスパイラル鉄筋を適切に配置し、十分なせん断耐力および変形能を確保したものをPHC杭 (JIS強化杭) と呼ぶ。

※2 タイプSは、SC杭+SC杭における継手の仕様を変更し、適用最大鋼管厚を厚くしたものである。ただし、タイプSの適用可能な会社は、(株)トーヨーアサノ、日本コンクリート工業(株)、日本ヒューム(株)、ジャパンパイル(株)、三谷セキサン(株)、児玉コンクリート工業(株)に限る。

2 適用工法

既製コンクリート杭のプレボーリング杭工法
 ただし、杭頭には使用しないものとする。

■ T・P JOINT の建設技術審査証明について

「T・P JOINT」は、土木分野での普及を目指し、一般財団法人土木研究センターの「建設技術審査証明」による審議を受け、2017年12月18日付で「建技審証 第1702号 (土木系材料・製品・技術、道路保全技術)」を取得し、2023年6月6日に内容変更・更新をいたしました。(有効期限2027年12月17日)



建設技術審査証明事業 (土木系材料・製品・技術、道路保全技術)
 建技審証 第1702号 (一財)土木研究センター
 有効期限2027年12月17日

■ 施工準備

T-P JOINTの施工にあたって、下記の材料および機材、工具を準備します。

● 使用材料および機材

名称	数量	仕様等の確認事項
1 接続プレート	3枚×継手数	対応杭径、継手TYPE
2 接続ボルト	杭径と継手TYPEによる必要数	ねじの呼び、長さ、強度区分
3 接続ワッシャー	同上	呼び径、外径、厚さ
4 ガイドピン	2~3個×継手数	上・下杭位置合わせ用

● 使用工具等

名称	数量	備考
1 トルクレンチ	1~6丁	規定トルク締め付け用 JIS B 4652 (手動式トルクツールの要求事項及び試験方法) によるプレセット形とする。
2 トルクレンチ用ソケット	各1~6個	M12用、M14用及びM16用
3 ラatchetレンチ	各1~3丁	仮締め用 (M12用、M14及びM16用)
4 六角レンチ	各1~3丁	埋込ボルト取りはずし用
5 ワイヤブラシ等	1~3個	杭端面、嵌合部及びねじの掃除用

■ 資格認定

継手研究会により、資格(施工管理技術者・施工技能者)を認定いたします。



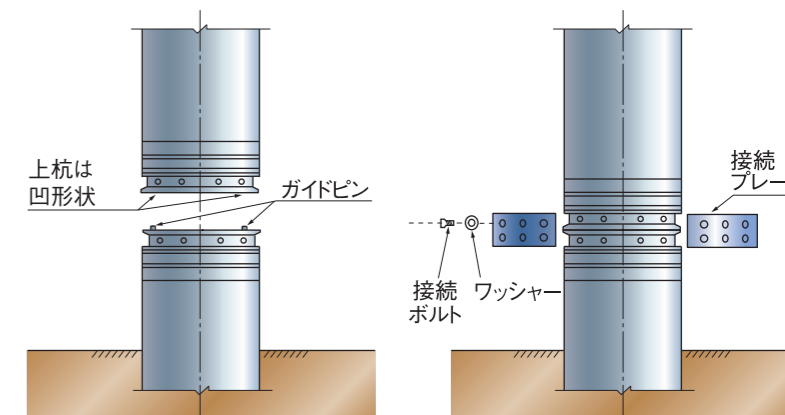
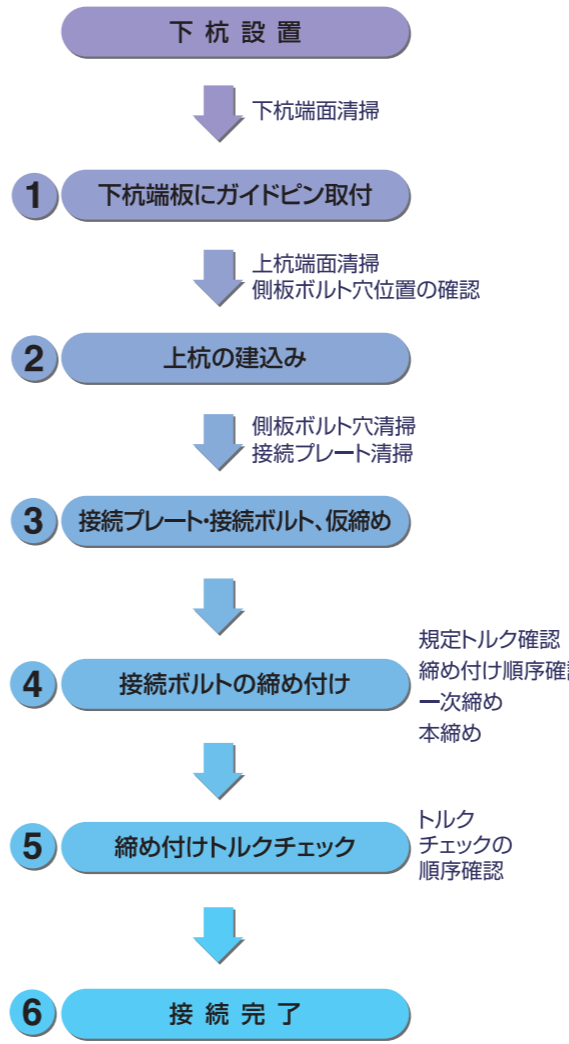
接続プレート・工具等



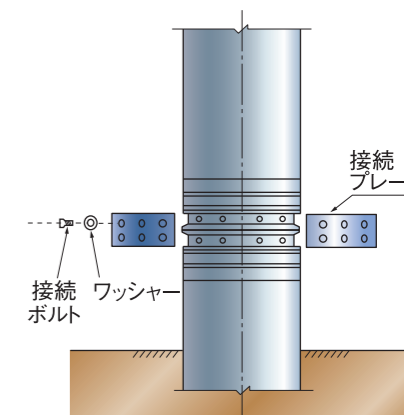
講習会状況・認定証明書

杭径等仕様の詳細については、当社にお問合せください。

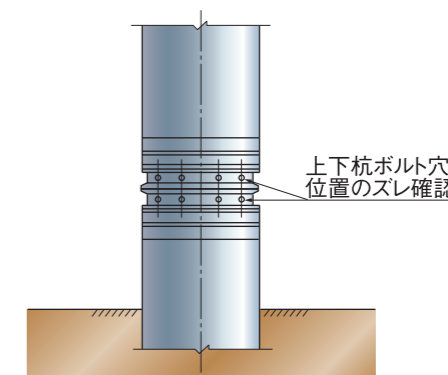
■ 施工



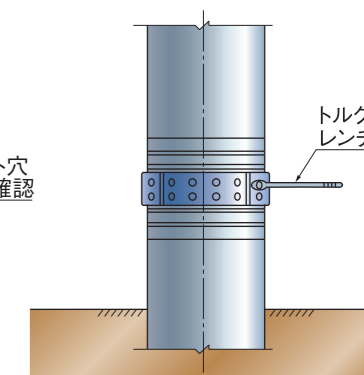
1 下杭端板に接続ボルト位置合わせ用ガイドピン取付 (上杭端板は凹形状)



3 接続プレート取り付け、接続ボルト仮締め



2 上杭を下杭に垂直に載せる (ガイドピン(凹凸)を合わせながら載せる)



4 トルクレンチにて接続ボルトの締め付け

5 トルクレンチにて接続ボルトの締め付けトルク確認

6 接続完了

● 一次締め完了



一次締め完了後、ボルト頭部からプレートにかけて一本線でマーキングする。

● 本締め



本締め完了後、ボルト頭部とプレートのマーキングのズレを確認する。

● 接続完了



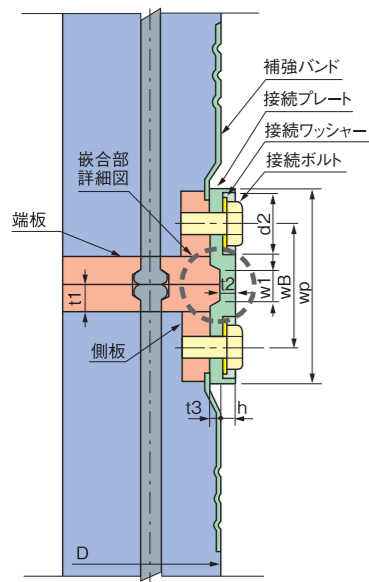
トルクチェック完了後、プレートにマーキングする。

杭径等仕様の詳細については、当社にお問合せください。

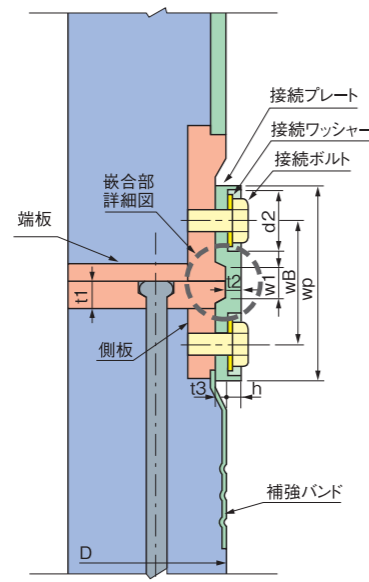
標準構造図 [PHC杭仕様]

TYPE I

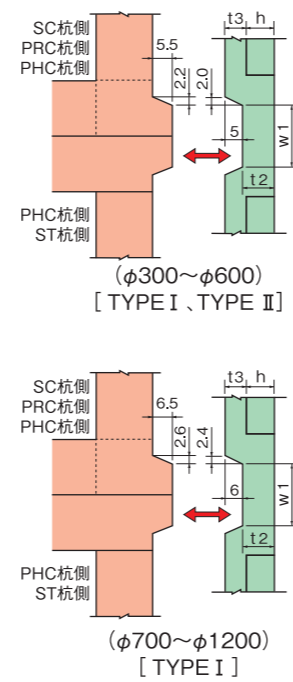
PHC杭+PHC杭の例



PHC杭+SC杭の例

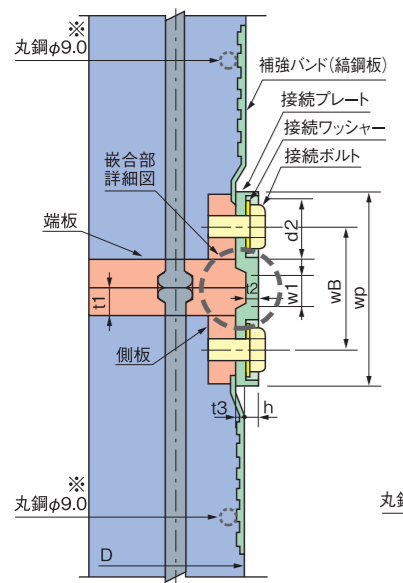


嵌合部詳細図

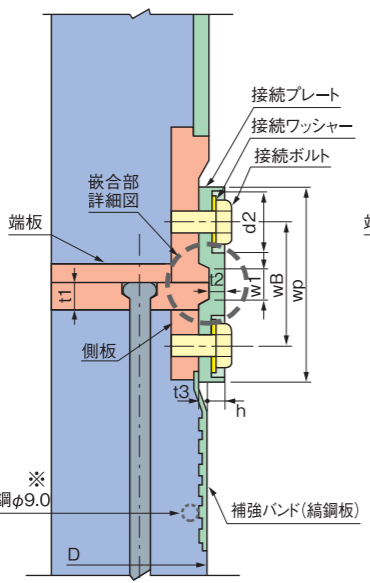


TYPE II / TYPE III

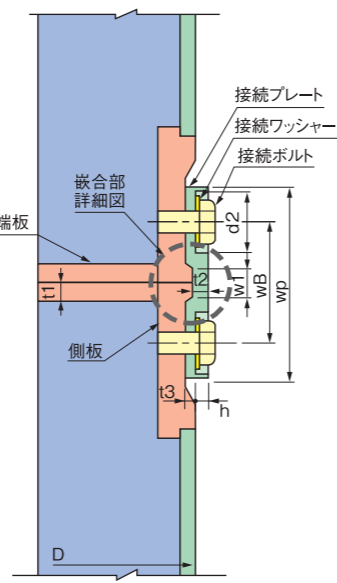
PHC杭+PHC杭の例



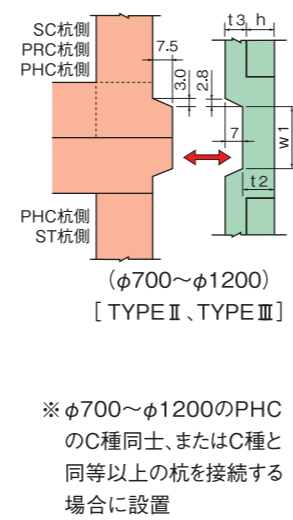
PHC杭+SC杭の例



SC杭+SC杭の例



嵌合部詳細図



ボルト分割数

ボルト分割数	6	9	12	15
接続ボルト本数	12	18	24	30
接続プレート分割及びボルト配置角度				
杭径	TYPE I φ300~φ500	TYPE I φ600, φ700	TYPE I φ800, φ900	TYPE I φ1000
	TYPE II —	TYPE II φ350~φ500	TYPE II φ600, φ700	TYPE II φ800, φ900
	TYPE III —	TYPE III —	TYPE III —	TYPE III —

ボルト分割数	18	21	24	27	30
接続ボルト本数	36	42	48	54	60
接続プレート分割及びボルト配置角度					
杭径	TYPE I φ1100	TYPE I φ1200	TYPE I —	TYPE I —	TYPE I —
	TYPE II φ1000	TYPE II φ1100	TYPE II φ1200	TYPE II —	TYPE II —
	TYPE III φ900	TYPE III φ1000	TYPE III —	TYPE III φ1100	TYPE III φ1200

標準寸法表

建築用仕様と一部異なる部分がありますので、ご注意ください。

■ 継手の仕様 [PHC+PHC用、PHC+PHC(JIS強化杭)用、PHC+SC用]

杭径 D (mm)	杭種	継手種類 (呼び名 TYPE)	側板材質	接続 プレート 材質	端板厚さ t1 (mm)	接続ボルト			接続プレート						接続 ボルト 間隔 wB (mm)
						呼び	本数 n (本)	長さ l (mm)	嵌合部			座ぐり部			
									厚さ t2 (mm)	深さ H1 (mm)	幅 w1 (mm)	厚さ t3 (mm)	深さ h (mm)	径 d2 (mm)	
300 (318.5)	A	4040-I	400材	400材	12以上	M12	12	25	9	5	18	7	7	32	65
	B, C	4049-I	400材	490材											
350 (355.6)	A	4040-I	400材	400材	12以上	M12	12	25	9	5	18	7	7	32	65
	B, C	4049-II	400材	490材											
400	A	4040-I	400材	400材	12以上	M12	12	25	9	5	18	7	7	32	65
	B, C	4049-II	400材	490材											
450	A	4040-I	400材	400材	12以上	M14	12	30	9	5	18	8	6	35	70
	B, C	4040-II	400材	400材											
500	A	4040-I	400材	400材	12以上	M14	12	30	9	5	18	8	6	35	70
	B, C	4040-II	400材	400材											
600	A	4040-I	400材	400材	14以上	M14	18	30	9	5	18	8	6	35	70
	B	4040-II	400材	400材											
	C	4049-II	400材	490材											
700	A	4040-I	400材	400材	16以上	M14	18	30	10	6	28	8	8	35	70
	B	4049-II	400材	490材											
	C	4049-II R	400材	490材											
800	A	4040-I	400材	400材	16以上	M14	24	30	10	6	28	8	8	35	70
	B	4040-II	400材	400材											
	C	4049-II R	400材	490材											
900	A	4940-I	490材	400材	19以上	M14	24	30	10	6	28	8	8	35	70
	B	4040-II	400材	400材											
	C	4049-III R	400材	490材											
1000	A	4040-I	400材	400材	19以上	M14	30	30	10	6	28	8	8	35	70
	B	4049-II	400材	490材											
	C	4049-III R	400材	490材											
1100	A	4040-I	400材	400材	22以上	M14	36	30	10	6	28	8	8	35	70
	B	4049-II	400材	490材											
	C	4049Y-III R	400材	490Y材											
1200	A	4040-I	400材	400材	22以上	M14	42	30	10	6	28	8	8	35	70
	B	4049-II	400材	490材											
	C	4049Y-III R	400材	490Y材											

注1：耐力の異なる杭種を継ぐ場合、T・P JOINT の仕様は耐力の低い杭に合わせる。
 注2：上表の「杭種」は耐力の低い方の杭種を示す。
 注3：400材の側板および接続プレートは、材質を490材に替えることができる。
 注4：接続プレートは腐食代1mmを考慮した寸法である。
 注5：継手種類に「R」が付いているものは、補強バンドに丸鋼を設置することを示す。
 注6：PHC+SCの場合、杭径300mmのPHC杭は杭径318.5mmのSC杭と、杭径350mmのPHC杭は杭径355.6mmのSC杭と接続する。

■ 継手の仕様 [PHC(JIS強化杭)+PHC(JIS強化杭)用、PHC(JIS強化杭)+SC用]

杭径 D (mm)	杭種	継手種類 (呼び名 TYPE)	側板材質	接続 プレート 材質	端板厚さ t1 (mm)	接続ボルト			接続プレート						接続 ボルト 間隔 wB (mm)
						呼び	本数 n (本)	長さ l (mm)	嵌合部			座ぐり部			
									厚さ t2 (mm)	深さ H1 (mm)	幅 w1 (mm)	厚さ t3 (mm)	深さ h (mm)	径 d2 (mm)	
300 (318.5)	A	4040-I	400材	400材	12以上	M12	12	25	9	5	18	7	7	32	65
	B, C	4049-I	400材	490材											
350 (355.6)	A, B, C	4049-II	400材	490材	12以上	M12	18	25	9	5	18	7	7	32	65
	A, B, C	4049-II	400材	490材											
400	A, B, C	4040-II	400材	400材	12以上	M14	18	30	12	5	26	8	9	35	70
450	A, B, C	4040-II	400材	400材	12以上	M14	18	30	12	5	26	8	9	35	70
500	A, B, C	4040-II	400材	400材	12以上	M14	18	30	12	5	26	8	9	35	70
600	A, B	4040-II	400材	400材	14以上	M14	24	30	12	5	26	8	9	35	70
	C	4049-II	400材	490材											
700	A, B	4049-II	400材	490材	16以上	M16	24	35	15	7	32	11	11	40	90
	C	4049-II R	400材	490材											
800	A, B	4949-II	490材	490材	16以上	M16	30	35	15	7	32	11	11	40	90
	C	4949-II R	490材	490材											
900	A, B	4949-III	490材	490材	19以上	M16	36	35	15	7	32	11	11	40	90
	C	4949-III R	490材	490材											
1000	A, B	4949-III	490材	490材	19以上	M16	42	35	15	7	32	11	11	40	90
	C	4949-III R	490材	490材											
1100	A, B	4949Y-III	490材	490Y材	22以上	M16	54	35	15	7	32	11	11	40	90
	C	4949Y-III R	490材	490Y材											
1200	A, B	4949Y-III	490材	490Y材	22以上	M16	60	35	15	7	32	11	11	40	90
	C	4949Y-III R	490材	490Y材											

注1：耐力の異なる杭種を継ぐ場合、T・P JOINT の仕様は耐力の低い杭に合わせる。
 注2：上表の「杭種」は耐力の低い方の杭種を示す。
 注3：400材の側板および接続プレートは、材質を490材に替えることができる。
 注4：接続プレートは腐食代1mmを考慮した寸法である。
 注5：継手種類に「R」が付いているものは、補強バンドに丸鋼を設置することを示す。
 注6：PHC(JIS強化杭)+SCの場合、杭径300mmのPHC杭(JIS強化杭)は杭径318.5mmのSC杭と、杭径350mmのPHC杭(JIS強化杭)は杭径355.6mmのSC杭と接続する。

■ 継手の仕様 [SC+SC用]

杭径 D (mm)	最大鋼管厚 (mm)		継手種類 (呼び名 TYPE)	側板材質	接続 プレート 材質	端板厚さ t1 (mm)	接続ボルト			接続プレート						接続 ボルト 間隔 wB (mm)
	400材	490材					呼び	本数 n (本)	長さ l (mm)	嵌合部			座ぐり部			
										厚さ t2 (mm)	深さ H1 (mm)	幅 w1 (mm)	厚さ t3 (mm)	深さ h (mm)	径 d2 (mm)	
355.6	5.0	—	4949-II	490材	490材	12以上	M12	18	25	9	5	18	7	7	32	65
400	4.5	—	4949-II	490材	490材	9以上	M12	18	25	9	5	18	7	7	32	65
450	5.0	4.5	4949-II	490材	490材	9以上	M14	18	30	12	5	26	8	9	35	70
500	5.0	—	4949-II	490材	490材	9以上	M14	18	30	12	5	26	8	9	35	70
600	5.0	4.5	4949-II	490材	490材	9以上	M14	24	30	12	5	26	8	9	35	70
700	6.0	5.0	4949-II	490材	490材	9以上	M16	24	35	15	7	32	11	11	40	90
800	7.0	5.0	4949-II	490材	490材	9以上	M16	30	35	15	7	32	11	11	40	90
900	7.0	5.0	4949-III	490材	490材	9以上	M16	36	35	15	7	32	11	11	40	90
1000	7.0	6.0	4949-III	490材	490材	9以上	M16	42	35	15	7	32	11	11	40	90
1100	10.0	7.0	4949Y-III	490材	490Y材	9以上	M16	54	35	15	7	32	11	11	40	90
1200	10.0	7.0	4949Y-III	490材	490Y材	9以上	M16	60	35	15	7	32	11	11	40	90

注1：耐力の異なる杭種を継ぐ場合、T・P JOINT の仕様は耐力の低い杭に合わせる。
 注2：上表の「最大鋼管厚」は耐力の低い方の杭の鋼管厚を示す。
 注3：接続プレートは腐食代1mmを考慮した寸法である。

継手の仕様【SC+SC用・タイプS】

杭径 D (mm)	最大鋼管厚 (mm)		継手種類 (呼び名 TYPE)	側板材質	接続 プレート 材質	端板厚さ t1 (mm)	接続ボルト			接続プレート					接続 ボルト 間隔 wB (mm)	
	400材	490材					呼び	本数 n (本)	長さ l (mm)	嵌合部			座ぐり部			
	t2 (mm)	深さ H1 (mm)								幅 w1 (mm)	厚さ t3 (mm)	深さ h (mm)	径 d2 (mm)			
318.5	4.5	—	4949-S1	490材	490材	12以上	M14	12	30	12	5	26	8	9	35	70
	7.0	5.0	4949-S2	490材	490材	12以上	M14	18	30	12	5	26	8	9	35	70
355.6	7.0	5.0	4949-S1	490材	490材	12以上	M14	18	30	12	5	26	8	9	35	70
400	6.0	5.0	4949-S1	490材	490材	9以上	M14	18	30	12	5	26	8	9	35	70
450	7.0	5.0	4949-S1	490材	490材	9以上	M14	24	30	12	5	26	8	9	35	70
	9.0	6.0	4949-S2	490材	490材	9以上	M16	24	35	15	7	32	11	11	40	90
500	6.0	5.0	4949-S1	490材	490材	9以上	M14	24	30	12	5	26	8	9	35	70
	8.0	6.0	4949-S2	490材	490材	9以上	M16	24	35	15	7	32	11	11	40	90
	9.0	6.0	4949-S3	490材	490材	9以上	M16	30	35	15	7	32	11	11	40	90
600	7.0	5.0	4949-S1	490材	490材	9以上	M14	30	30	12	5	26	8	9	35	70
	9.0	6.0	4949-S2	490材	490材	9以上	M16	30	35	15	7	32	11	11	40	90
700	8.0	6.0	4949-S1	490材	490材	9以上	M16	30	35	15	7	32	11	11	40	90
800	8.0	6.0	4949-S1	490材	490材	9以上	M16	36	35	15	7	32	11	11	40	90
900	8.0	6.0	4949-S1	490材	490材	9以上	M16	42	35	15	7	32	11	11	40	90
1000	8.0	6.0	4949-S1	490材	490材	9以上	M16	48	35	15	7	32	11	11	40	90

注1：耐力の異なる杭種を継ぐ場合、T-P JOINTの仕様は耐力の低い杭に合わせる。

注2：上表の「最大鋼管厚」は耐力の低い方の杭の鋼管厚を示す。

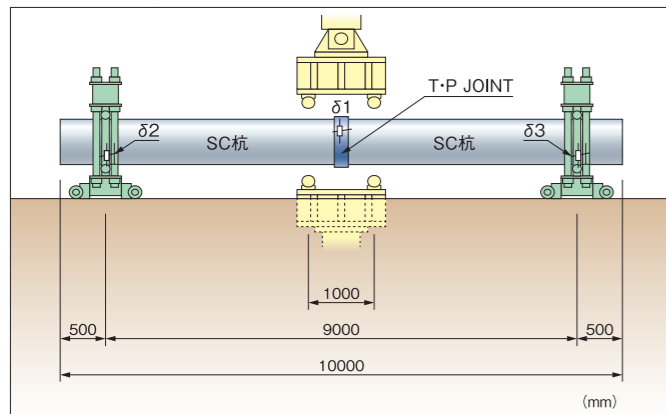
注3：接続プレートは腐食代1mmを考慮した寸法である。

性能検証試験

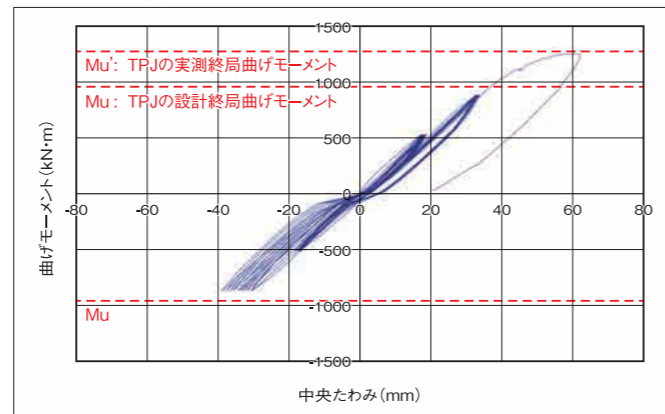
1 継手部の力学特性

実物を用いた曲げ試験、正負交番繰返し曲げ試験、せん断試験、軸引張試験の結果、T-P JOINTを用いた継手部は、杭本体と同等以上の曲げ耐力、せん断耐力、軸方向耐力を有すること。また、溶接による継手と同等の曲げ剛性を有することを確認しました。

● 正負交番繰返し曲げ試験方法



● 正負交番繰返し曲げ試験結果



杭径等仕様の詳細については、当社にお問合せください。

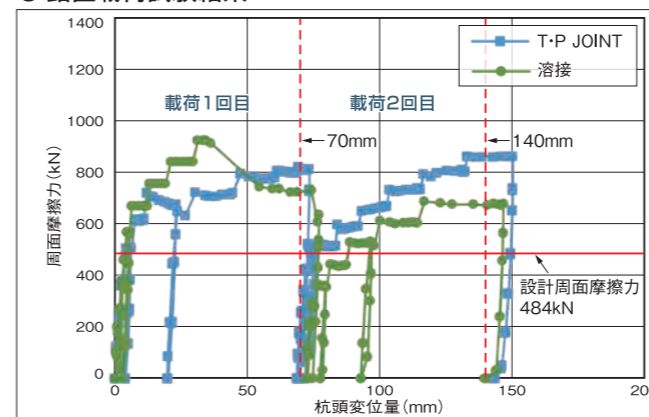
2 支持力への影響

プレボーリング杭工法で施工した杭で、鉛直荷重試験、水平荷重試験、および試験後の掘り出し調査の結果、T-P JOINTを用いた杭は、溶接による継手の杭と同様の挙動を呈することから、T-P JOINTを用いた継手部は杭の支持力に影響を与えないことを確認しました。

● 掘り出し調査（プレボーリング工法）



● 鉛直荷重試験結果



3 施工性

施工試験の結果、T-P JOINTによる継手部の接合作業は、溶接による接合に比べ短い時間で施工ができることを確認しました。

● 施工試験状況



注意事項

⚠️ <ご注意とお願い>

- T-P JOINTを用いて土木構造物の基礎を設計するにあたっては、本カタログを参考にするとともに、建築基準法や、関係法規、指針、基準等を遵守して、適正な設計をしていただきますようお願い申し上げます。
 - 施工要領や、管理基準については、詳しく記載しておりません。工事関係につきましては、「T-P JOINT 施工要領書」をご覧くださいようお願い申し上げます。
 - 製品・工法の改良のため、または製品仕様、施工機械の仕様等は予告なく変更することがありますので予めご了承ください。
 - 地域により地盤、土質性状が異なり、各製品、工法での施工性能が均等に発揮できない場合があることをご了承ください。
 - 本カタログについての詳細は、当社まで直接お問合せください。
- ※本カタログ掲載の製品・工法に関して問題が発生した場合には、右記の免責事項をふまえた上で、当社にて対応させていただきますので、お願い申し上げます。

⚠️ <免責事項>

- 本カタログに掲載された事項に反した設計、施工により問題が発生した場合。
- 基準仕様以外に使用者の指示した仕様、施工方法等により問題が発生した場合。
- 標準仕様以外に使用者から支給された材料、部品により問題が発生した場合。
- あらかじめ定めた用途、部位以外に使用し、それにより問題が発生した場合。
- 使用者もしくは第三者の故意、または過失により問題が発生した場合。
- 引渡し後、建物の構造、性能、仕様等の改変を行い、これにより問題が発生した場合。
- 瑕疵(カシ)を発見後、すみやかに届けがなされず、これにより問題が発生した場合。
- 構造物の変形、老朽化、外部からの衝突等、製品以外の外的要因により問題が発生した場合。
- 開発、製造、販売、施工時に通常予想される環境(温度、湿度、水位、地盤状況、その他)等の条件以外における使用に起因する問題が発生した場合。
- 設計時に想定された以上の不可抗力(天災、地震、地盤沈下、火災、爆発など)が原因となり問題が発生した場合。

杭径等仕様の詳細については、当社にお問合せください。 10



既製コンクリート杭の機械式継手 トリプルプレート ジョイント

T・P JOINT

前田製管株式会社

<https://www.maeta.co.jp/>

建設業許可番号/国土交通大臣(特-3) 第213号 土、建、とび・土工、舗、解

本 社	〒998-8611 山形県酒田市上本町6-7	TEL 0234-23-5111 FAX 0234-24-7002
関東支社	〒135-0042 東京都江東区木場5-11-17(商工中金深川ビル6F)	TEL 03-5621-6473 FAX 03-5621-6455
東北支社	〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉3-9-4(マエタビル2F)	TEL 022-263-2620 FAX 022-214-8071
青森支店	〒030-0121 青森県青森市妙見3-3-30	TEL 017-738-1577 FAX 017-738-1624
(八戸駐在)	〒039-1103 青森県八戸市長苗代2-20-1(オフィス長苗代2-C号室)	TEL 0178-20-2115 FAX 0178-28-7434
岩手支店	〒023-0003 岩手県奥州市水沢佐倉河字中の町13	TEL 0197-25-6211 FAX 0197-24-7532
(盛岡駐在)	〒020-0505 岩手県岩手郡雫石町中黒沢川181-20	TEL 019-692-2911 FAX 019-692-2912
仙台支店	〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町1-13-22(仙台松村ビル8F)	TEL 022-263-2626 FAX 022-263-2630
(大崎駐在)	〒989-4411 宮城県大崎市田尻八幡字袋沢35-5	TEL 0229-39-0485 FAX 0229-39-2503
秋田支店	〒010-0944 秋田県秋田市川尻若葉町1-33	TEL 018-865-3191 FAX 018-862-6862
(横手駐在)	〒013-0060 秋田県横手市条里3-8-15	TEL 0182-32-9833 FAX 0182-33-4117
山形支店	〒994-0075 山形県天童市大字蔵増字長沼3174	TEL 023-656-8860 FAX 023-651-6011
(山形事務所)	〒990-2447 山形県山形市元木3-10-10	TEL 023-615-7580 FAX 023-633-3770
酒田支店	〒999-7781 山形県東田川郡庄内町余目字沢田15	TEL 0234-45-0450 FAX 0234-45-0451
福島支店	〒963-0531 福島県郡山市日和田町高倉字杉下26-2	TEL 024-958-3236 FAX 024-958-3207
茨城支店	〒310-0853 茨城県水戸市平須町1828-223	TEL 029-305-3371 FAX 029-350-2163
栃木支店	〒329-1323 栃木県さくら市卯の里2-19	TEL 028-681-5221 FAX 028-681-2557
千葉支店	〒260-0007 千葉県千葉市中央区祐光4-7-10	TEL 043-221-2051 FAX 043-221-2052
東京支店	〒135-0042 東京都江東区木場5-11-17(商工中金深川ビル6F)	TEL 03-5621-6471 FAX 03-5621-6455
新潟支店	〒950-0948 新潟県新潟市中央区女池南2-10-16	TEL 025-283-7555 FAX 025-283-7551
※青森工場	〒036-0146 青森県平川市大坊竹原62-3	TEL 0172-44-6659 FAX 0172-44-6673
※十和田工場	〒034-0102 青森県十和田市大字大沢田字北野166-2	TEL 0176-27-2101 FAX 0176-27-2103
●水沢工場	〒023-0003 岩手県奥州市水沢佐倉河字中の町13	TEL 0197-25-6212 FAX 0197-25-6244
水沢第二工場	〒023-0002 岩手県奥州市水沢工業団地3-102	TEL 0197-24-6561 FAX 0197-22-3679
雫石工場	〒020-0505 岩手県岩手郡雫石町中黒沢川181-20	TEL 019-691-1600 FAX 019-692-2912
※宮城工場	〒989-4411 宮城県大崎市田尻八幡字袋沢35-5	TEL 0229-39-1321 FAX 0229-39-2503
山元工場	〒989-2112 宮城県亶理郡山元町真庭字新山神70	TEL 0223-38-1171 FAX 0223-38-1567
●秋田工場	〒018-2401 秋田県山本郡三種町鴉川字八幡台124	TEL 0185-85-2300 FAX 0185-85-2304
角館工場	〒014-0343 秋田県仙北市角館町下延東川原1-6	TEL 0187-54-2166 FAX 0187-54-4294
本社工場	〒999-7781 山形県東田川郡庄内町余目字沢田15	TEL 0234-43-4545 FAX 0234-42-1434
※天童工場	〒994-0075 山形県天童市大字蔵増字長沼3174	TEL 023-654-5012 FAX 023-654-5014
※東根工場	〒999-3716 山形県東根市大字蟹沢字下縄目1938-2	TEL 0237-42-0457 FAX 0237-43-2347
※米沢工場	〒992-0003 山形県米沢市窪田町窪田1285-1	TEL 0238-37-2161 FAX 0238-37-2164
郡山工場	〒969-1105 福島県本宮市関下字向川原1-1	TEL 0243-36-4491 FAX 024-958-3207
宇都宮工場	〒321-0406 栃木県宇都宮市金田町466	TEL 028-674-2211 FAX 028-674-2214
●栃木工場	〒329-1323 栃木県さくら市卯の里2-19	TEL 028-682-3321 FAX 028-682-5450
※追分工場	〒059-1986 北海道勇払郡安平町追分弥生286-1	(共和コンクリート工業株式会社)
※川島工場	〒308-0856 茨城県筑西市伊佐山218-3	(NC東日本コンクリート工業株式会社)
※古河工場	〒306-0206 茨城県古河市丘里13-4	(NC関東パイル製造株式会社)
※茨城工場	〒306-0213 茨城県古河市北利根1	(ジャパンパイル株式会社)
※熊谷工場	〒360-0161 埼玉県熊谷市万吉3300	(日本ヒューム株式会社)
※東京工場	〒190-1204 東京都西多摩郡瑞穂町富士山栗原新田161-1	(株式会社トーヨーアサノ)
※阿賀野工場	〒959-2221 新潟県阿賀野市保田1280番地7	(山崎パイル株式会社)

(注) ●はパイル製造工場、※は製造委託工場

杭径等仕様の詳細については、当社にお問合せください。

※カタログの掲載内容及び仕様は、予告なく変更することがあります。 本内容・仕様は2024年4月現在のものです。

